

# 故事成語「助長」確認テスト（孟子） | 定期テスト対策 | 誰でも古典塾 解答・解説

---

問1 宋人に其の苗の長ぜざるを閔へて、之を堰く者有り。

（「有～者」は「～する者がいる」と訳す。「閔」「堰」の読みに注意。）

問2 自分の畑の苗が（思うように）大きく伸びないこと。

（「長ぜざる」＝成長しないこと、を心配したのである。）

問3 疲れてぐったりした様子。

（一日中苗を引っぱり続けて疲れ切ったさまを表す。）

問4 イ 疲れる

（「病」には「病氣」のほか「疲れる」の意味がある。ここは一日中作業して疲れた意。）

問5 私は苗（の成長）を助けて、伸ばしてやった。

（「助苗長」＝苗を助けて成長させる。本人は得意になっている点がポイント。）

問6 その子（息子）が走って行って苗を見ると、苗はすっかり枯れてしまっていた。

（「趨」＝小走りに急ぐ、「則」＝そこで・すると、を訳出する。）

問7 心配する。気にやむ。（「うれふ」と読む。）

問8 引き抜く。（ここでは、苗を引っぱり伸ばそうとすること。「ぬく」と読む。）

問9 一本一本の苗を手で引っぱり上げて、（無理やり）背を高くした。

（「堰」＝引き抜く・引っぱりという行為を具体的に説明する。）

問10 枯れる。（「かる」と読む。）

問11 （引っぱられたために根が傷つき、）枯れてしまった（苗則槁れたり）。

問12 苗は土から養分を吸って自然に成長するものなのに、無理に引っぱったため根が土から浮いて傷つき、生きていけなくなったから。

（自然の成長を無視した点が原因である。）

問13 助長

（「堰苗助長（あつびょうじょちょう）」を略して「助長」という。）

問14 早く成長させようとして余計な手出しをし、かえってだめにしてしまうこと。

（よかれと思った手助けが逆効果になる、という意味。）

問15 イ 悪い意味

（現代でも「不安を助長する」など、悪い結果を後押しする意味で使う。「成長を助ける」というよい意味で使うのは誤り。）

**問16** (例) 受験生に過度なプレッシャーをかけることは、かえって不安を助長する。

(「悪い結果を強めてしまう」文脈であれば正解。)

**問17** 孟子 (『孟子』)

(公孫丑上に収められている話である。)

**問18** 孟子

(戦国時代の儒家の思想家。性善説を説いたことで知られる。)

**問19** 浩然の気 (こうぜんのき)

(天地に満ちる正大な気力。正しい行いを積み重ねて養われるとされる。)

**問20** (例) 物事には自然な順序や成長の早さがあり、結果を焦って無理に手を加えると、かえってだめにしてしまう。勉強や人の成長も、急がず着実に積み重ねることが大切だ、という教訓。

(孟子は、浩然の気も焦って無理に養おうとしてはいけない例えとしてこの故事を挙げている。「焦りは禁物」という趣旨が書けていればよい。)

**問21** あつびょうじょちょう

(「揠苗」を「あつびょう」と読む。苗を抜いて成長を助ける、の意。)